

この町で、この地で笑って老いたい ～そのために今すべきこと～

大草山だより

錦着て
帰る故郷の
若葉かな



内藤岩雄

山上まちづくりの会（広報部・事務局）電話 82-0933

令和6年6月号

第19回総会と新体制の役員運営委員会が開催されました

4月12日（金曜日）に山上地域振興センターにおいて、『第19回山上まちづくりの会 総会』が開催され、令和5年度の事業報告・決算報告の後、新年度事業計画並びに予算案が提出・審議され、いずれも可決承認されました。また、6月12日（水曜日）に年度最初の役員運営委員会が開催されました。「山上まちづくりの会」の活動は、地域の皆さん方のご理解とご協力のもとに進めて行かれるものです。会長をはじめ各役員は令和6年、7年の任期2年となります。どうぞよろしくお願いいたします。

役員運営委員会は、会長・副会長・部長または副部長・山上地域担当町職員・事務局で構成されます。

代表改選で福寿実自治会長再任となりました、山影明也です。再任ながら、なかなか皆様の役に立つ様な活動も間々ありませんが、職務を果たすよう努めますので、皆様ご協力宜しくお願い致します。



『山上まちづくりの会』
代表副会長 山影明也さん
（福寿実）

日頃よりまちづくりの会の活動に協力をいただきありがとうございます。皆さんの協力無くしてこの会は成り立ちません。会長職の二期目へ続投する事になりましたが引き続き協力をいただき様々な課題を達成すべく知恵と工夫で取り組みますので宜しくお願い致します。



『山上まちづくりの会』
会長 木村正史さん
（佐木谷）

副会長 高橋秀紀さん（茶屋） 副会長 大塚功さん（福万来） 副会長 木下和夫さん（笠木）

自治防災部

部長 坪倉淳さん（福万来）

- 山上地区消防放水訓練 8月25日
- 日南町防災訓練参加 10月6日

地域振興部

部長 若月好さん（福万来）

- ホタル観賞地草刈り作業（春・秋） 6月16日
- 福万来ホタル乃国おもてなし 6月27日～7月9日

住民学習部

部長 坪倉千春さん（佐木谷）

- 冬の寄せ植え教室（12月頃）
特色ある地域活動交付金を運用

- 体育事業は事務局と日南町体育協会山上支部で運営

- 広報事業は事務局で『大草山だより』、『まち協だより』発行
- ※ 交流活動活性化交付金で支え愛部『山上ちょこっと応援隊』、事務局『栗まんじゅう交流事業』を行います。



福万来ホタル乃国



逸話

福万来のホタルは昔から知られていましたが、現地は私有地でもあり見知らぬ人が入ってきて歩き回り荒らされるのを危惧して、地元の人たちだけで楽しんでいました。地元の長老の話では昔から山で光るものが居る事は承知しており、『むじなボタル』・『しいらボタル』の通称で呼んでいました。昔から地元では、『夜山で光っているのはヘビの目玉が光っているから夜山に入ったらイケン』と言われていたそうです。

活動の沿革

- H14年 通称『むじなボタル』『しいらボタル』と言われていたものが、鳥大日置教授から当時珍しい『ヒメボタル』であると知らされました。新聞社よりヒメボタルの生息場所を聞かれた事もありました。
- H15年 観察に訪れる人が多くなり、車のライトや懐中電灯で山を照らす人が有り、ヒメボタル減少の原因になりました。
- H16年 ヒメボタルの減少に危惧した有志により現在のヒメ御殿を中心に100m遮光ネットを設置しました。これが保護活動の最初の一步になりました。
- H17年 山上まちづくりの会発足と同時にヒメボタルの保護を計画し組織として活動を始めました。鳥大学生によるヒメボタル生息状況条件調査があり、2万匹以上いることがわかりました。
- H19年 ヒメボタル発生ピーク時のパトロールと案内を開始しました。
- H20年 遮光ネットを300mに延長し、平成21年には観賞地県道沿いの草刈りを始めました。
- H22年 観賞者の駐車誘導当番制を開始し、シーズン観賞者は360人になりました。
- H23年 キャラクターを作成し名前を公募、『福ひかる君・万来あかりちゃん』に決定しました。
- H24年 シーズン観賞者2,000人超。山陰中央新報を皮切りにマスコミ取材が殺到しました。
- H25年 駐車場を増設し50台収容できるようになり、平成26年には観賞道を設置しました。
- H28年 全国ホタル研究大会を誘致しました。
- H29年 道の駅からシャトルバス運行開始。平成30年には現地バスロータリーを整備しました。
- R6年 新しいキャラクターグッズのTシャツ・ポロシャツ・缶バッチやポストカードなどを製作しました。福万来ホタル乃国の上側にも駐車場を作り、入場できるようにしました。

山上支館（公民館）から山上地域振興センターになった時、山上まちづくりの会が発足。その役割とは公民館活動に加え、今後は地域の特色を活かした特産品や観光も含めて地域自身でやっていくという事でした。山上まちづくりの会 地域振興部はまち協発足当時からホタルの環境保護活動に関わってきました。現在、福万来ホタル乃国おもてなしは主に誘導員、本部対応、ガイドをやっています。その他にグッズ作りや学校での環境保護講座、SNSを使った山上PRもやっています。皆さんの協力なしでは山上まちづくりの会の事業は成り立ちませんのでご協力よろしくお願いいたします。

地域振興部長 若月好

特集 福万来ホタル乃国~案内図~

令和6年 6月27日～7月9日 (たったもカードを提示すると入場無料になります!)

20年前、坪倉久光さん(福寿実)がボランティアで始められたホタル生息地の環境美化活動。その活動は山上まちづくりの会の活動として引き継がれ全国的にも有名になりました。地域振興部では、地域の皆様と協力して日本最大のヒメボタル鑑賞地 福万来ホタル乃国を開国しています。福万来地区では、見渡す限りの山肌を埋め尽くすヒメボタルと、川の上を幾重にも舞うゲンジボタルの大饗宴が見られます。その規模は全長約1kmもあり、地域の宝といえるホタル鑑賞スポットです。

今年は上側にも駐車場を作りました。上側からも入ることができます。

